

市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月2日（火） 16時30分～17時30分

場 所：コミュニティセンター桜森会館

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：51人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 道路環境美化活動に参加し相模大塚駅北側周辺の美化に努めており、わいわい公園の活動の中で感じたことについて申し上げたい。
- ・ 道路管理課はごみ袋が15袋出ましたと午前中に連絡すると、午後に駆けつけて回収してくれており、6月は4回もあったが対応してくれた。
- ・ 一方、みどり公園課は、土曜日にわいわい公園で12袋出たごみ袋が回収をお願いしてから1週間経っても回収されない。
- ・ 週明けの月曜にも回収されず、10日経って再度請求をして漸く回収された。
- ・ 今後、回収されないごみ袋に穴を開けられ労力が無駄になってしまう恐れもあるため、組織による対応を統一して臨機応変に対応していただきたい。
- ・ ポケットパークは、回収をお願いしてから20日間が経ち、今朝もごみがそのまま残っている状況なのでいかななものかと思う。

【市長】

- ・ 自治会の皆様には、地域を防犯・防災・美化活動など多岐に渡り携わっていただき感謝申し上げます。
- ・ 自治会の活動の支援について、所管課に指示し対応する。
- ・ 市の職員には、行政運営ではなく行政経営として、市民の皆様をお客様として向き合うように伝えている。
- ・ 初動対応がとても重要であり、電話か窓口での対応に誠意をもって応えること、今後しっかりと回収することを所管課に伝える。

【意見】

- ・ 文ヶ丘小学校の北側にあったコンビニに郵便ポストがあったが、コンビニも撤退し近隣に郵便ポストがない状態である。
- ・ ポストの設置もしくは移設を大和郵便局長に伝えてほしい。

【市長】

- ・ 郵便ポストは市の所管ではなく郵便局の判断にはなるが、地域の方がお困りということは郵便局に伝えていきたい。

【意見】

- ・ 粗大ごみの処分・減量化について、多くの自治体がジモティーと協定するなど不用品の減量化に繋げている。

- ・大和市の家具類再生展示施設「リサイクル未来館」が8月に閉館するが、回収品を再生、入手できるよう申込み抽選があり購入まで手間がかかっていたことも課題だったかと思う。
- ・より簡単に、費用をかけず、不用品を必要とする人に届けるシステム、持込み無料の専用施設を設置して、全国のモデル市になってもらいたい。
- ・大和市にペットとともに楽しめる商業施設を例えば泉の森周辺などにつくり、地域の活性化に繋げてもらいたい。
- ・市のPRをしてメディアが取り上げてくれるような市になってもらいたい。

【市長】

- ・ごみ改革は、来年度に向けて市で動いている。
- ・粗大ごみは、ジモティーやメルカリを使って次に繋げることができないか検討している。
- ・地域の活性化については、広域連携を含めて市を盛り上げていきたいと考えており、上瀬谷にできるテーマパークに若い世代が集まることが見込まれるので、大和市にとってよい機会であり一緒に盛り上げていく。
- ・大和市に企業誘致するために動いており、より魅力的なまちにしていきたい。

【意見】

- ・資源リサイクルの分別回収について改善して欲しい。
- ・相模大塚に特急を停めてほしい。
- ・将来、大和市を繁栄させるためには厚木基地の西側にUSJのような施設をつくるなど盛り上げていかないといけない。
- ・大和駅から西に向かうと相鉄線が半地下になっているので、トンネル方式を半分地下にすればよい。

【市長】

- ・資源リサイクルの分別回収について、今まさに来年度に向けて動いているところであり、戸別回収も含めて検討している。
- ・相鉄線で今1番可能性があるのは、相模大塚駅だと感じている。
- ・グーグルやアマゾンなどの大企業や有名ホテルの誘致、データセンターなど時代にニーズに沿ったもの、原動力となるものができれば、特急が停まるのも夢ではないと思う。
- ・厚木基地に関しては、基地の返還が大前提であり、それまでの間は縮小を前提に民間で利用できるようにすることも検討していきたい。

【意見】

- ・総合計画の数値について、人口増加の原因は何から分析したのか。
- ・市としての7つの目標が10か年で構成されているが、具体的に何をしたいのかわからない。
- ・目標値の見直し、分析、解析をどのように想定しているか。

【市長】

- ・大和市は大企業、工業地帯がないため、人口が大幅に減りづらいので、減るとすれば住宅の自然減や転入転出があるのではないかとみて少しずつ微増という判断をしている。
- ・基本構想10年、基本計画5年、実施計画3年というスパンの中で必ず見直しをしていく。
- ・毎年行っている事務事業評価で、達成率を評価して見直していく。

【総合計画担当課長】

- ・大和市の住民基本台帳をもとに集計しているものなので、国が示している人口統計とは少しズレがある。
- ・直近5年で中央林間に大きなマンションが建つことなど、社会的な傾向をみた上での数値となる。
- ・基本構想7つ、その下に基本計画があって目標を示している。市民意識調査での客観的な数値、主観的なデータ、実際に事業を行ったという客観的なデータといった指標を掲げてKPI（重要業績指標）を設定して進行管理していく。
- ・基本計画は、総合計画のなかで最終的に達成率や目標値を示していくのでご確認いただける。事務事業評価もご確認いただける。

【意見】

- ・今年の2024年までの10年計画があったと思うが、その施策の状況はどうなったのか。
- ・それを元に7つの構想ができているはずで、その振り返りを私たちは見ることとはできるのか。

【市長】

- ・歴代の市長によって行政の運営の考え方は様々であり、私は市民の声を聴いて政策に繋げていく方針である。
- ・市民の声を聴いて政策に繋げるために、市の最上位計画である総合計画を新たに策定することとした。

【総合計画担当課長】

- ・総合計画の進行管理、2019年～2028年については、5年スパンでの計画になるので3年経った時点で施策の方向性を見直している。
- ・総合計画審議会で報告をして、成果の評価が正しいものか間違っていないかを評価した上で計画を進めていき新しい形をとっている。
- ・市ホームページ上でも評価の内容を載せているのでご確認いただきたい。

【意見】

- ・孫は授業で楽しくダンスをしていて、市のイベントにも参加させていただいている。
- ・あと1～2年で中学生になるので、中学校にダンス部をつくって欲しい。

【市長】

- ・ダンス・柔道・剣道は必修科目に指定されたが、部活動でダンスができないのは、ダンスを教えられる先生がいないことも大きい。
- ・学校現場は先生が足りない状況だが、ダンスには力を入れていきたいと思っているので、ご意見を教育委員会、教育部に伝えていく。
- ・大和市のダンス大会を復活させたいと考えているので、実現の際はぜひお孫さんにもご参加いただければと思う。

【意見】

- ・相模大塚は電車の本数が多くなったが、周辺への振動が問題である。
- ・騒音対策、環境整備について、検討していただきたい。

【市長】

- ・ご意見を関係する所管課に情報提供し、大和市地域公共交通協議会の議題にもあげていきたい。

【意見】

- ・子どもが集まる地域、子育てのしやすいまち、子どもが安心して成長できるまち、やはり子どもが宝だと思うので、子どもがどんどん集まってくるまちにしていいただければと思う。
- ・子どものスポーツに携わることが多く、運動施設は数も種目数も充実しているが、活性化している印象がない。
- ・大和市の子どもの運動能力が非常に低く、大和市の小学生のなかで足が速い子ども、全国の中の上くらい。
- ・具体的に何かイベントなどの話もあったが、宝物が大きく成長させていける政策を考えていただきたい。

【市長】

- ・子どもが体を動かすこと、スポーツ・運動することを充実させていく考えであり、そのための環境を整えていきたい。
- ・スポーツを通して、ルールを守る、仲間と一緒に目標をもって努力する、相手を敬う気持ち、これらは道徳に繋がってくる。
- ・年を重ねると生活習慣病のリスクが高まる。
- ・運動が健康に有効で、体を動かすことは高齢化による筋肉の低下の予防などにもつながるので、幼少期からスポーツをさせることに力を入れていきたい。

【意見】

- ・ごみは貴重な資源であるという考え方を市として提案していくのが大事で、近隣市も含めて発信していくべきである。
- ・特に、ごみの中に希少金属等を大量に含むものがあるので、大和市単独で再利用できるシステムづくりをするのは難しいと思うので、県や国、地域が一体化することで、ごみを削減できればと思う。

- ・ 資源リサイクルについて、環境管理センターの方とやり取りする機会があるが、市民の声を聴きながら対応してくれていると感じるので、大和市の資源リサイクルがよくやっていることを、もっと発信して欲しい。

【市長】

- ・ 座間市、綾瀬市、海老名市は3市でゴミに対応しているが、大和市は単独で対応しているので予算がかかっている。
- ・ 下水道の北部浄化センター、中部浄化センターも同じことが言え、将来的に広域で対応することで予算を削減していきたいと考えている。
- ・ 希少メタルを取り出すために、ゴミを低温で焼却する技術が相模原市にはあるが、大和市は焼却炉の種類が異なり、高温で焼却するため金銀が燃えてしまい取り出せない。
- ・ 小型家電（携帯やパソコンなど）の希少メタルを集めても少量なので、相模原市と広域連携をしていくことも含めて検討していきたい。